

## 現状の課題と課題解決のための手立て

【現状の課題】 向上心が低く、スピーチやプレゼンテーションなど発信する力が弱い。

【課題解決のための手立て】主体的に取り組むことができる場面設定を用いたプロジェクト形式の授業を行う。

## 具体的取組の内容

### 【具体的取組】

- プロジェクト形式での主体的・対話的な深い学びを実現する授業を仕組む。
- ONIEを用いて情報活用能力の向上を目指す。
- 毎時間の帯活動で、1分間のフリートークと多読・速読の取組を実施する。
- ALTの活用(文法指導をオールイングリッシュで実施する)



写真を見せながら、自分が  
行きたい場所の魅力を紹介



ALTがイラストを使いなが  
ら新出文法を英語で導入

### 【公開授業等】

- 授業参観(9/18実施、1/18実施予定)、県教委、市教委、大学教授にプロジェクト形式以外の授業を公開し、授業研究を行った。
- 研究授業(7/18、10/19実施)、県教委、市教委、大学教授が授業を参観し、授業研究及び研究の今後の方向性について話し合った。
- 公開授業(11/30実施、2/14実施予定)、県教委、市教委、大学教授及び、市内中学校英語教員、市内小学校外国語担当教師を対象に公開授業を行い、授業研究及び小中学校の英語指導での課題の共有や解決のための具体的対策について話し合った。

## 成果①

### ①生徒アンケート(3年生で実施)

- 英語の学習は好き…… 53%
- 英語の授業は面白い…… 77%
- 将来英語は役に立つ… 83%

### ②県学力調査(英語)

#### 県全体の平均との比較(経年比較)

H25	-7.4
H26	-5.3
(研究開始)H27	+5.3
H28	+9.1
H29	+1.1
H30	+8.3

#### H30の学力調査の領域別比較

表現……	+19.6
理解……	+4.6
言語文化…	+1.9

## 成果②

### 【生徒の変容】

#### ○知識・技能

・応用的な英語を用いることで、基礎的な英文法への理解が深まった。

#### ○思考力・判断力・表現力

- ・発表活動において、効果的な視覚材料を選んで活用し、豊かな表情やジェスチャーを交えて発表できるようになった。
- ・友達の意見に対して自分の考えを述べ、話し合い活動を通してより良いものを作り上げようとするコミュニケーション力や協働性が高まった。

#### ○学びに向かう力・人間性

- ・主体的に情報を集めようとする姿勢が身につく、求める情報を素早く収集し、その情報を精査して必要な情報と不必要な情報を見分けることができるようになった。
- ・新しく学習したことも失敗を恐れずに、積極的に活用しようとする姿勢が身についた。
- ・人前で発表した成功体験の積み重ねで、自分の行動に自信を持てるようになり、難しい課題でも最後までやり遂げようとする姿勢が身についた。
- ・より良い発表(プレゼンテーション)をしようと工夫をする生徒が増えた。
- ・低学力の生徒も生き生きと活動する姿が見られた。

## 今後の課題・方向性

### 【課題】

- プロジェクトの時間確保が難しい。
- 即興での英語のやりとりが不十分である。
- ドリル的な書く活動が不足し、単語のスペルミスが目立つ。

### 【今後の方向性】

- プロジェクトのためのカリキュラムマネジメント
- 日々の授業(特に文法指導時)をオールイングリッシュを行うことによるインタラクティブでコミュニケーション的な授業の実践。
- 帯活動における書く活動の継続的な実施。